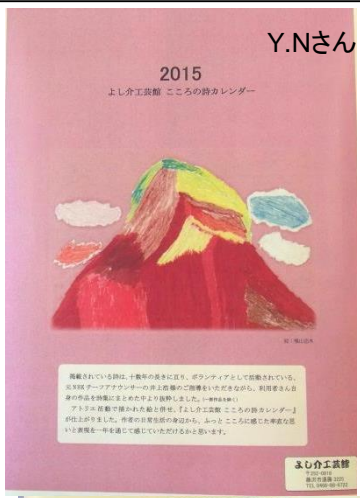


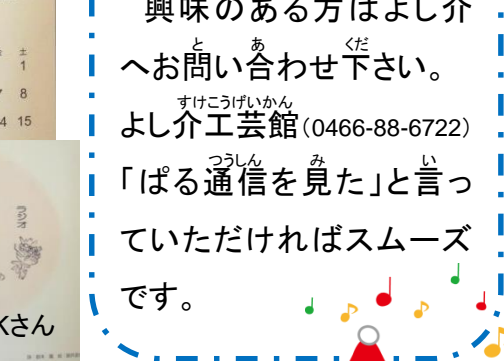
ぱるつうしん

発行元：社福)藤沢育成会藤沢育成会 サービスセンターぱる
〒251-0013 神奈川県藤沢市小塚592
電話：0466-28-0909 FAX：0466-28-0959
法人ホームページ：<http://www.f-ikusei.or.jp>

平成26年12月号



よし介工芸館で販売している2015年のカレンダーです。利用者さんが描いた絵や詩が印刷されています。今回はグループホームからよし介工芸館に通われている方の作品を載せていただきました。温かみのある素敵な作品がたくさん詰まったカレンダーです。興味のある方はよし介へお問い合わせ下さい。よし介工芸館(0466-88-6722)「ぱる通信を見た」と言っていたいただければスムーズです。



もくじ

- P2-5 **【特集】**
『サービスセンターぱるを大解剖
しちやいます♪パート2』
子ども支援部署・ヘルパー部署編
- P6 グループホーム部署
- P7 所長がシャベリスギター
- P8 職員投稿・『ありがとう』

トピックス！

～特集～
サービスセンターぱるを大解剖しちやいます♪
パート2
子ども支援部署&ヘルパー部署 編
実はあまり知られていなかったことなど、内容を
ギュッと詰めてお送りします！



特集『サービスセンターぱる』を 大解剖しちゃいます♪パート2 子ども支援部署編



前号に引き続き、今号ではサービスセンターぱるの内部をみなさまにご紹介します！

今回は『子ども支援部署編』です！

子ども支援部署では、下記の表のように、4つの事業所を運営しています。

対象児童・場所・建物のほか、働く職員も異なる環境の中で、事業所がそれぞれの特色を持って取り組んでいます。



★子ども支援部署 事業所一覧表★

	対象児童	所在地	備考
①星の村	小学1年生～6年生	羽鳥(辻堂駅徒歩15分) ※庭付き戸建	学校・自宅送迎あり
②カラフル	小学1年生～6年生	善行駅東口徒歩2分 ビル1階	
③はぐ	幼児/小学校低学年 ※クラスにより異なる	サービスセンターぱる1階	幼児:親子利用/小学生:子のみ送迎無し
④プリズム	中学生～高校生	善行駅西口徒歩2分 ビル2階	学校・自宅送迎あり

※①～④の番号は、設立順。

どの事業所にも共通する点は、『子どもの豊かな育ちを支援すること』とし、『一人一人にあわせた個別支援計画を作成し、年間をとおして計画に沿ったサービスを提供する』ことを具体的な支援方針として取り組んでおります。

『個別支援計画』ってなに???

ぱるの個別支援計画とは...

ひとのかかわりやコミュニケーション、遊びや余暇、身辺自立などの領域から、お子さんの発達段階やご家族の想いをふまえ、担当者が中心となり目標・具体的な支援方法を考え、ご家族に提案し同意をいただいたものです。

ぱるの特徴としては...

1年という期間を目安に、ご家族や学校からの情報提供や日々の活動の様子から、達成

が可能であろうと見立てた目標を設定します。目標や具体的な支援は半年に一回評価(モニタリング)をすることで、達成状況や支援の改善点などをスタッフ間で話しあい、書面にて配布、ご家族との面談等により共有します。

では、個別支援計画が、実際の支援の中でどのように反映されているかを次のページで紹介いたします！

『個別支援計画』はどのように支援の場で反映されている？



左の表は、前号に紹介した放課後等デイサービス星の村スタッフの一日の動きです。この表の、【クラス打合せ】・【振り返り】(下記参照)部分に着目して、個別支援計画の実施状況をご紹介します。子ども支援部署では、4事業所いずれも、クラス打合せとクラス振り返りを実施しています。1事業所に一日スタッフが複数名おり、また曜日によってスタッフも変動するため、情報共有・意見交換を大事にしています。

クラス打合せ

- ・送迎時間やスタッフの配置
- ・前回の支援内容の確認事項
- ・利用児童の個別支援計画の確認
- ・プログラムやスケジュール (準備するもの、スタッフの役割等)
- ・『本日のポイント』

クラス振り返り

- ・『本日のポイント』
- ・プログラム(良かった点・改善点)
- ・個別支援内容の変更、追加点
- ・ヒヤリハット

『本日のポイント』とは、その日の支援の重点目標です。

主にはひとりひとりの個別支援計画から、具体的に、いつ・どこで・だれが・どのように支援の中でおこなうかをスタッフ全員で意見交換し、下記のように実施します。



例えば、児童Aさんの場合・・・

Aさんの目標は...
『プログラム場面をとおして、ことばで気持ちを伝えられるようになる』

背景

発語があるお子さんですが、お友達の前では緊張したり、間違ったらどうしよう・・・など自信を持ちづらいうでした。

クラス打合せで決める！

《おやつ作りプログラムに注目して支援を検討》

場面	具体的な支援内容
おやつ作り前のフリータイム 担当：スタッフB 場所：おやつプログラムの部屋	①おやつ作りの手順書を事前にスタッフと確認する ②プログラム中にやりたい作業を発表する機会があることを伝える ③メモにやりたい作業を書いて、本人のポケットに入れる (困った時に、自分で確認できる)

支援後・・・クラス振り返り

達成状況	良かった点・工夫点
○・△・× 	①スタッフとの個別のやりとりに意欲的に参加。 ②おやつプログラム場面になると、早くことばにしたいような様子があった。実際『○○がやりたいです！』と笑顔でことばにすることができた。 →継続的に取り組むことで、本人の変化等を確認していく。次の機会はメモはなく実施してはどうか。

打合せで確認できたことが上記のように、うまくいったり、またはいかなかったりします。結果よりもその過程を大事に捉え、『次はこうしてみよう！』『ご家族や学校に相談してみよう』などと、小さな気づき・疑問を支援につなげながら、利用児童ひとりひとりの成長の一助となるように取り組んでいます。

担当：吉川

特集『サービスセンターぱる』を 大解剖しちゃいます♪パート2 ヘルパー部署編



子ども支援部署に引き続き、このページでは、『ヘルパー部署』を紹介します！！

ヘルパー部署では、利用者さんと直接かかわるサービスを始め、事業所間やご家族と情報を共有する会議、ヘルパー養成のための講座等、様々な業務を行っています。ぱるヘルパーの支援にかける想いとともにお伝えします。



ヘルパー部署のお仕事

①サービス(行動援護、移動支援、居宅介護[身体介護、家事援助、通院介助]、福祉有償運送)

登録ヘルパー75名(12月現在)とコーディネーター7名が、学校や通所先への送迎や休日の余暇を中心に、1カ月約400件のサービスを提供しています。コーディネーターは、サービスを実施するための調整、支援費請求(サービス利用時間を行政に報告し、利用者に代わって介護給付費(利用者負担額を除く)を請求する)も行っています。

②担当者会議 ケア会議、モニタリングetc...

ヘルパー事業所、作業所、日中活動場所、学校、相談員、ご家族等が集まり、利用者さんのニーズに沿ったサービスを提供するための情報共有や支援方法の統一を目的とした会議を行っています。

③養成講座 知的障害者ガイドヘルパー養成講座(年二回)／行動援護従事者養成研修(年一回)

ガイドヘルパー養成講座は、移動支援サービスを提供するヘルパーを養成する講座を年2回実施。制度の概要をはじめ、支援者の心得や業務の規則等、適切なサービス提供が行えるように、ぱるスタッフを中心に外部講師も迎えて、3日間かけて行います。行動援護従事者研修では、自閉症の障害特性を、講義・疑似体験・グループワーク・ロールプレイを通して3日間みっちり学びます。遠くは北海道から、第一線で活躍するスペシャリストを招いて研修を行い、支援の質の向上を目指します。

④研修(スタッフ&ヘルパー研修、ヘルパー会議)

スキルアップを目的として、ぱる(ヘルパー部署)で研修を企画し、ヘルパーに参加をしてもらいます。AED使用方法や救命講習、食事介助、虐待、権利擁護について学び、また当事者を招いて話を聞き、利用者主体とは何なのか?について考える機会も作っています。

⑤藤沢市障がい児者ヘルパー事業所連絡会

藤沢市には多くのヘルパー事業所があります。活動範囲や強みは事業所それぞれですが、事業所同士が情報を共有し、藤沢市全体で力を合わせて支援を行っていただけるように、連絡会に参加しています。

ここに注目！

ヘルパー部署が大切にしている事は？

ヘルパー活動は、地域の中で行います。駅や乗り物などを利用することで、人と触れ合う機会も増えます。お互いを知ることで社会との距離が近づいていきます。

私たちは、地域と利用者の橋渡しとしての役割の大切さを感じています。

ヘルパーは、ライフステージの変化に合わせて変わっていくニーズに対し柔軟に対応できるサービスです。その特徴を生かし、利用者の成長や環境の変化に応じたきめ細かいサービス提供を心がけています。

「“できる”は見守り、“苦手”に手を添える。」
利用者の可能性を信じ、“待つ”ことを心がけています。

まだ社会資源と結びついていない方や、お家から出られずにいる方が、社会とつながるキッカケになるよう、ご自宅に伺いご本人と知り合う事から始めるサービスを実施しています。

「外に出て時間を過ごす」事だけでなく、どうしたら利用者さんが、その時間を“自分らしく”過ごせるのか。楽しむことができるのか。充実した時間の提供を心がけています。

ヘルパーサービス以外に、その方に合ったサービスが無いかを検討し、情報の提供を行っています。

障害特性の理解、支援技術のスキルアップ等、より良いサービスが提供できるように、スタッフ・ヘルパーともに積極的に研修に参加しています。

福祉の最新情報を得られるように、事業所間のつながりを大切に、情報共有を行います。

～私たちの想い～

楽しむことは生活の幅を広げ、人生を豊かにしてくれます。特に限られた空間と交流の中で過ごすことの多い障がいのある人にとって、社会に出て自分なりの楽しみを見つけることはご本人はもちろん周囲の方にとっても、非常に意味のあることだと考えています。

「サービスセンターぱる」のヘルパー部署では、“ひとりひとりが自分らしい時間を過ごすために”をモットーに、社会参加や余暇活動、日常生活のお手伝いを行っています。

主役は、「利用者」だから。

ガイドヘルパーの最大のメリットは、“その人のペースに合わせて行動できる”こと。マンツーマンのサービスだからこそ、その方の“らしさ”を存分に発揮してもらうことができます。主役は利用者。ヘルパーは利用者の皆さんの後ろから横から柔軟に立ち位置を変えながら環境調整をし、ご本人の希望を実現するためのお手伝いをします。

ヘルパーを知ってもらうこと。

ヘルパーは地域の中で活動しています。少しずつ認知度も上がってきてはいますが、周りには、まだまだヘルパーを知らない方がたくさんいます。私たちは、利用者さんと関わる場面を、地域の人たちに見てもらい、外出時の手伝いを必要としている人がいる事、支援をすることで外出が出来る事を知ってもらう、興味を持ってもらうことが、心のバリアフリーにつながっていくと考えています。そしてそれが、障がいのある方も、そうでない方も、みんなが一緒に生きていける地域になるために、ヘルパーができる事だと信じ、サービスを提供しています。

今回は、グループホーム部署の特集です！どうぞ期待！！

● グループホーム部署 ●

今年も終わりに近づいてきたところで、今年度入職した職員にこの1年を振り返ってもらおうと、インタビューをしました。

①入職する前と後でグループホームの印象はどう変わったか

②印象に残った出来事はどんなことか

○田中職員



①配属が通知され、「共同生活援助」という言葉を目にした時、頭の中にハテナしか浮かんでいませんでした。グループホーム自体知らない状態でした。入所施設は、入職前に研修をしていた事もあり、すぐにイメージが浮かんできましたが、グループホームは言葉から何もかも、全く未知の世界であり、調べてみても自分の中で想像できませんでした。

そんな私がグループホームに配属され、半年以上が経ち、グループホームはたくさんの方が関わって成り立っているのだなと感じています。

入職前にグループホームに対してのイメージがなかった分、グループホームのイメージを作り上げている状態です。入所や通所の業務の話を知ると、グループホームのコーディネーターは、定型業務が少なく、イレギュラーに臨機応変に対応しなくてははいけないものだと感じています。

例えば、急に職員が休みになった時に、周りの力を借りながら勤務調整をしたり、コーディネーター間の勤務調整をする。利用者さんが風邪を引き通院をする必要があれば通院をしたり、グループホームのコーディネーターなら

ではの業務が多いなと感じています。

②できないと思っていたことが実はできることが多かったことに驚かされました。グループホームについても施設というイメージが強く、支援員がついて介助しているという事は、利用者が1人ではできないからついているのだと思っていました。しかし、今までは職員が介助していた髻剃りやお血洗いを本人がチャレンジしてみるとできたことがありました。

これからも本人の可能性を信じて支援していきたいと思いました。

○松葉職員



①以前、老人介護の現場で働いていました。その時、一度だけ障がい者の方が住まわれているグループホームを見学しました。印象としては「職員が常に側にいて見ている」でした。

今年の5月から育成会に入職してグループホームを見学してからは、自分が以前見た施設は一つの例であることを知りました。育成会では利用者同士で自由に過ごし、その中で自分達で決まり事を決め、少し難しいところは職員が入るといふ形があることを学びました。

障がいと聞くとまだ世間の目が厳しいと感じますが、表面だけ見るのではなく、もっと多くの方に内面を知って頂きたいと思いました。

②入職したばかりの頃、ある利用者さんが何かで怒ってホームを飛び出し近くのバス停まで出ていくことがありました。その方は普段歩くときすぐに転倒されるので、気持ちの持ちかたでこ

クリスマス会報告



12月13日(土)にクリスマス会を行いました。ハイツリールの利用者からホテルでクリスマス会をしたいと声が集まり、全10ホームに呼びかけたところ、19名の利用者が集まりました。

提案者のリール利用者でクリスマス会で何をしたいのか話し合いました。仮装したい、ラジオ体操がしたい、プレゼント交換をしたい、カラオケをしたい等、さまざまな案が集まりましたが、その中で2つに絞り、プレゼント交換とカラオケをすることに決まりました。

当日は10時から車に乗り始め、11時にホテルに到着。ステンドグラスの窓がとても綺麗な部屋で、ドリンク飲み放題付きのフレンチコース料理を楽しみました。

カラオケでは、各々好きな歌をうたい、最後にはアナと雪の女王の曲を皆で合唱し、大盛り上がりでした。

司会や始めの言葉、終わりの言葉はリールの利用者で行ないました。事前に練習した成果もあって、本番では素晴らしいスピーチに感動しました。協力して下さった方々、参加して下さった方々、そしてリールの皆さん、本当にお疲れ様でした。たくさんの方の感動をありがとうございました。

高橋



【職員投稿】

このコーナーは、職員が自由なテーマで投稿しています。



子ども支援部署の門馬孔貴と申します。僕の趣味は、アメリカドラマ、通信販売での買い物、旅行です。

海外ドラマでオススメは、クリミナルマインドです。

通信販売は日用品から電化製品までamazonで購入！

基本的に店舗で買うよりも安いことが多い、店舗でお買いものする機会が激減しています。

旅行は今年の1月に沖縄へ行ったので、来年には北海道辺りに行って、海産物を飽きるほど食べたいと思います。



機関誌は、サービスセンターぱるの図書コーナーにて閲覧できますので、お越しの際はぜひ、ご確認ください☆



みみよりニ情報★★★

今回、このコーナーでは、サービスセンターぱる開催の「スタツフルパー研修」の中で、職員が紹介した【福祉情報】(書籍・テレビ・ラジオ・インターネット・新聞などジャンルは様々)より、機関誌を二冊、コミック本を一冊、皆様に紹介します。

〇月刊『さぽーと』

(財)日本知的障害者福祉協会が発行する月刊誌。知的障害者の支援に携わる職員を対象とした雑誌です。支援技術や制度についての最新情報が得られます。

〇月刊『手をつなぐ』

全国手をつなぐ育成会連合会が発行する情報・交流誌。知的障害をもつ当事者や家族の意見や主張、役に立つ情報などがやさしく読めます。



続いてご紹介する情報は、コミック本です。読書が苦手…という方、読みやすいのでおすすめです。『旦那さんはアスペルガー』

- 著者 野波ツナ
- 監修 宮尾益知
- 出版 コスミック出版



著者である女性が、アスペルガー症候群の旦那さんとの日常のやりとりを描いた、体験コミックエッセイです。、空気が読めない旦那さんには理由があった。氣付いた妻は…?。第二弾、第三弾とシリーズ化もされており、興味ある方はぜひ、チェックしてみてください。

ぱるの 大部屋・小部屋

所長がシャベリスギッター

「サンドイッチの三角食べ」

ある日の昼休み。

昼食にS職員がサンドイッチを食べていた。フランスパンに、玉子とツナとハムをそれぞれ挟んだ、いわゆる三色サンドである。ちよつとセレンぶな感じの昼食だ。

Sさんがおいしそうに、その上品なサンドイッチを食べ始めた。まずツナを一口、次に玉子を一口、さらにハムと三種類のサンドイッチを順々に食べて行く。三色サンドは、それぞれ平等に一口ずつ少なくなっていくわけである。食事途中経過としては、食べかけの三切れのサンドイッチが容器に横並びになっっている構図が出現する。

これを隣の席に坐っていたMさんが、見とがめた。

「その食べ方はちよつと…」

歯形がしっかりついたサンドイッチが三つ並んでいるわけだから、確かに、Mさんの目には下品に映ったのだろう。Sさんはちよつと困っ



た風だ。

その様子を見て、私が助け船を出した。

「私もSさんと同じ食べ方をしますよ。食べ物は一口ずつ順番に食べる。その方がおいしいし、栄養摂取のバランスがいい。」

Mさんがすかさず反論。

「三角食べですよ。それはお膳にそろえた食事なら分かりますよ。学校でも習ったし。でもサンドイッチでそれをやるのはちよつと。一切れをまず全部食べ、次にもう一つ食べる。次に三つ目と綺麗にひとつずつ片付けていくのが、正しいサンドイッチの食べ方です。」

必死に私も反論する。

「いや、それじゃおいしくないんだよ。色んな味を同時に楽しむ。これがいなのよ。日本人の正しい食べ方は三角食べだ。」

この論争は当然、決着が付かずに終わった。家に帰って、三角食べについてインターネットで調べてみた。

『ごはん↓おかず↓おみそ汁↓ごはん、繰り返して、全体をまんべ

なく均等に食べていく食べ方を「三角食べ」と言い、日本人は、古

来この食べ方をしてきた。「口中調味」と言って、おかずと一緒に食べる

ごはんの量を減らせば、味は濃くなるし、逆にごはんの量を増や

せば味を薄くすることができます。ごはんを間にはさんで、自分で口中で味付けをしているわけで私

達はこういった食べ方をすることで、知らないうちに味の深みや幅を広げているのである。』

「こういう「三角食べ」を、西洋人は決してしないとのことだ。

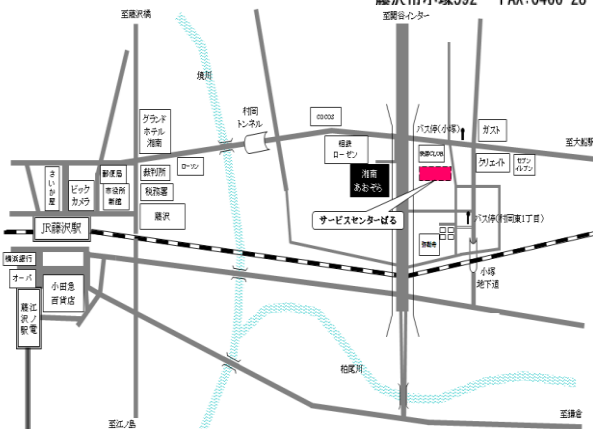
サンドイッチは元々、西洋の食べ物だし、そうするとMさん流が正しい食べ方なのか。でも、こちらは日本人だ。サンドイッチも三角食べで行くのだ。

今度、Sさんと席を並べて三色サンドを食べよう。六切れの食べかけのサンドイッチを見たら、Mさんは何と云うだろうか。

今度、Sさんと席を並べて三色サンドを食べよう。六切れの食べかけのサンドイッチを見たら、Mさんは何と云うだろうか。

《サービスセンターぱる》

〒251-0013 TEL:0466-28-0909
藤沢市小塚592 FAX:0466-28-0959



【バスをご利用の場合】

<行きかた1>

藤沢駅北口より11番乗り場『大船駅行き』または『四季の杜行き』

『小塚』停留所から徒歩2分になります。

<行きかた2>

藤沢駅南口小田急百貨店前8番乗り場『渡内中央行き』もしくは『湘南鎌倉総合病院行き』(教養センター行きは×)に乗り、『村岡東1丁目』停留所から徒歩3分になります。

【徒歩で来所される場合】

藤沢駅北口より徒歩18分